

# 川崎市総合教育センター 所 報

## 川崎市総合教育センター

〒213-0001 川崎市高津区溝口6-9-3

Tel 044-844-3600

代表メール KE130201@to.keins.city.kawasaki.jp

ホームページ <http://www.keins.city.kawasaki.jp/>

## 現場に生きる実践的研究・研修をめざして

川崎市総合教育センター 所長 竹田 文夫



着任して早々、指定都市教育研究所連盟（全国 16 大都市の教育センター・研究所が加盟している組織）の研究協議会が広島で開催され、本センターを代表して参加する機会がありました。そこでの協議題の一つに「センターでの研究・研修をいかに学校現場に生かすことができるか」がありました。こうしたことが話題になること自体、全国の各教育センターにとって、学校現場に生きる研究・研修のあり方が大きな課題になっているということの裏返しでもあります。当センターにとっても授業改善など実践につながる研究・研修はどうあるべきか重要な課題になっています。

ある指定都市の教育センターが行った「教師としての自分の資質向上に何が役立ちましたか」というアンケートの結果では、「センターの研修」と答えた教師はわずか 14% にすぎなかったそうです。最も多かったのが、「学校における OJT」で、6 割を占めたとのこと。こうした傾向は、調査をした都市だけのことではなく、どの都市の研究センターにも共通して言えることではないでしょうか。このアンケート結果が意味していることは、これまでのような学校現場への研究の広げ方や講義を中心とした研修のありかた等を根本から見直していくことの必要性を示しているのではないかと思います。

そうした見直しの視点として、教師の「授業力」を考えてみたいと思います。教師に求められている力は、何よりも、実際の授業場面で具体的に発揮される力としての「授業力」です。この「授業力」を支えているものが、いわゆる暗黙知とよばれるもので、実際の授業場面で無意識に発揮される力です。それは身体化した知であり、目に見えない部分です。授業はどんなに事前に綿密な計画を立てても予想通りに進むということはまずあり得ません。やってみなければわからな

いのが授業の面白さであり、難しさでもあります。子どもの表情を見ながら、どのように子どもの反応を受けとめ、どのようにつなぎ、返していくか、瞬間的な意思決定を絶えず行いながら進めていかなければならず、実に複雑で高度な専門性が求められてきます。

こうした暗黙知としての「授業力」を身につけていくためには、実際の授業をもとに、ふりかえり（リフレクション）を繰り返しながら、実践を通して、磨き、身体化していくしか方法がありません。泳げない人に、どうすれば泳げるようになるか、口だけで説明することは難しく、実際に泳ぐことを通して身につけるしか方法がないのと同じことです。

このように考えるならば、「授業力」を身につける方法として最も有効なのが、実際の授業のふりかえりを中心とした校内研究・研修であることは明らかです。先のアンケートで「学校における OJT」が 6 割を超しているということの理由もここにあるのではないのでしょうか。

これまでのセンターの研究・研修のあり方をこのような点から見直し、いかにして、各学校の校内研究・研修の活性化を内側から支援できるか、新しい発想で取り組んでいく必要性を感じています。センターにおける研究や研修に授業研究を積極的に取り入れたり、演習やワークショップを取り入れた参加型の研修にしたりするなどの工夫はもちろんです、それだけでは不十分です。

最も大事なことは、研究・研修を一方向的に提供し、それを活用してもらおうという発想から抜け出すことです。子どもや学校に目を向けながら、課題を捉える確かな目を持ち、実践に携わる先生方と共に学び合い、高め合う双方向の関係を築いていけるような研究・研修・相談・教育支援をめざしていきたいと考えています。

### 平成20年度 川崎市総合教育センター 『所 報』 第1号 主な内容

〈コラム〉 鶴養美昭先生（専門員）…………… 2	特別支援教育センター…………… 5
〈紹介〉 平成20年度研究会議一覧…………… 2	教育相談センター…………… 6
〈紹介〉 カリキュラムセンター…………… 3	幼児教育センター…………… 7
情報・視聴覚センター…………… 4	平成20年度研究推進校一覧…………… 8

## 川崎の心のケアを支援して

教育相談センター専門員

日本女子大学 カウンセリングセンター所長 鵜養 美昭



総合教育センターの専門員として、筆者は教育相談センターのお手伝いをしてきている。この業務の中で、さまざまな子どもの心の問題に接していると、現代社会の激変に子どもたちの心の成長が押しつぶされてきた事実を突き付けられ、胸が痛む。個々の子どもの心の問題は、不登校やいじめ、軽度発達障害など個別の形をとって現れるが、そのいずれにも現代社会のあり様が如実に反映している。思えば、筆者が臨床心理の道に入った頃、彼らの心の表現は、言葉によって豊かに表出される可能性が閉ざされ始め、暴力的・攻撃的な形をとり始め、手近な担任、学校に向けられ始めていた。その次の季節には、さらに内向して、自分自身に向かい、不登校・集団不適応に姿を変え始めた。筆者は、子どもたちの心の問題の広がりや深さ、深刻さに圧倒された。このままでは、子どもたちの心のエネルギーは豊かな関係を結ぶことができなくなり、より手近な対象に向けられ、よりプリミティブな表現に回帰するであろうと思われた。その予感に戦慄したものである。

その後、子どもたちの攻撃性は自分の身体に向けられて摂食障害、自傷行為になり、自分の心に向けられて無気力・無為が蔓延することになった。さらに、その傾向は深化し、攻撃性は自分の生存そのものに向けられ、自殺が大きな問題となった。次の段階には、攻撃性は対象を失い、無差別な対象に向けて衝動的に炸裂するようになった。17歳問題などと言われた犯罪が世の中を騒がせた時期である。現在では、こうした傾向が子どもに限らず、世の中一般に見られるようになってきた。亡国論はいつの世にもある。しかし、人の心のあり方や対人関係の取り方というような具体的・現実的に観察可能な事実が変質してきているのが現代の特徴であろう。犯罪さえ動機を失い、行きずりの衝動爆発となってきた。世界が破滅するのは温暖化傾向だけによるのではない。もっと深い心の奥底でも人間の本性の破壊が緩慢に、しかし確実に進行しているのである。

現在、人々間の関係は以前にも増して、頻度についても、密度においても減少してきていることが観察される。子どもの心のエネルギーは対象を失い、成長が可能となる場も失われてきている。そうした流れに抗して子どもたちの健康な成長の場を確保しようと努めている人々が総合教育センターにはいる。実に貴重な、ありがたいことである。筆者の仕事はこうした尊い努力に少しでも添い、エネルギーを加え、一緒に川崎の子どもたちの成長を支援することであると痛感している。

## 平成20年度 長期研究員等による研究会議一覧

○長期研究員

◎担当指導主事

研究会議名	研究テーマ	研究メンバー
算数、数学	根拠を示して説明する力を育てる 算数・数学科の授業改善	○金田昌之 高橋 徹(日吉小) 中村真紀(京町小) 今井なつき(菅生中) ◎榎原真也
理 科	学び合いによる科学的知識や概念の習得・活用を通し、科学的リテラシーを育む理科授業	○吉田 崇 野原博人(南原小) 新海昌彦(野川中) 山岸木聖(橘小) ◎上杉岳啓
図画工作、美術	つくりだす喜びとともに 創造活動の基礎的な能力の育成を目指す授業の工夫	○澁谷典子 荒金庸子(殿町小) 中園順子(西中原中) 奥澤 司(犬蔵中)◎佐藤利行
体育、保健体育	知識と技能の活用を考えたわかりやすい授業を目指して	○中野正明 今枝春美(富士見中) 中西幸太(王禅寺小) 井上美代子(上作延小)◎大内孝二
家庭、技術・家庭	生活をよりよくしようとする能力と態度を育む家庭、技術・家庭科の学習指導	○太田ひとみ 林 敦子(藤崎小) 金田玉恵(古市場小) 濱 晴奈(野川中) ◎江尻孝美
総合的な学習の時間	肯定的自己理解と自己有用感を得るための総合的な学習の時間のあり方	○安田健二 藤代崇行(大谷戸小) 滝澤純子(宮内小) 堀田英史(臨港中) ◎藤中大洋
高校教育	生徒相互の関わり合いを深めるホームルーム活動の指導方法	○田中健次 新井昭浩(川崎高) 富樫昌克(商業高) 鈴木良男(高津高) ◎荒井利之
情報モラル教育	学校における情報モラル教育の日常化を目指した研究	○草柳譲治 橋爪竹志(日吉中) 鹿島俊章(野川中) 田中啓介(平小) ◎増田 実
特別支援教育	通常の学級における特別な教育的ニーズのある児童生徒に対する支援の在り方	○下山真紀子 加賀田葉子(末長小) 伊藤琢也(南菅中) 関 真由美(南大師中)◎高木幸江
学校教育相談	振り返りにおける教育相談のかかわりについての検証	○勝俣久美子 小川浩史(向丘小) 高橋得巳(中原中) 松崎博晃(大師中) ◎松崎哲範
専門研究員	テキストに基づいて自分の考えを表現する能力の育成	平 典人(橘高校) ◎新垣英一
カウンセラー研究員	学校における教育相談のあり方と内容について	渡辺 克己(井田中) ◎尾立秋彦



# カリキュラムセンター

代表 TEL 844-3721  
FAX 844-3604

職名	氏 名		主 な 業 務 内 容
室長	河野 勝彦 (844-3720)		カリキュラムセンター業務の全体統括
主幹	佐藤 裕之 (844-3730)		研究・研修事業の全体統括、カリキュラムセンター業務の整理
指 導 主 事	国語	新垣 英一	国語、書道、学校図書、読書のまち・かわさき事業、教育課程研究会、学力・学習状況調査、学校教育の指導の重点、新任教務主任研修、20年研修
	社会	小松 典子	社会、地理・歴史、公民、平和教育、学籍・指導要録等、教育課程調査・報告、総則・委託研究、学校評価支援事業、副読本かわさき、2年目研修
	算数・ 数学	榎原 真也	算数・数学、総則・委託研究、夜間学級、学力・学習状況調査 新任総括教諭研修、学校経営校長研修
	理科	上杉 岳啓	理科、環境教育、理科支援員等配置事業、教科書採択、表彰・推薦事務 新任教頭研修、中学校理科初任者指導力向上研修
	生活・ 総合	藤中 大洋	生活、総合的な学習の時間、学校教育のあゆみ、総則・委託研究、教育課程研究会、小中連携一貫教育、輝け☆明日の先生事業、10年経験者研修
	音楽	川崎 靖弘	音楽、子どもの音楽活動推進事業、人権尊重教育、研究推進校事業、舞台芸術新任校長研修、人権尊重教育推進担当者研修
	図工・ 美術	佐藤 利行	図工・美術、教育課程研究会、21世紀の教育を創造する研究会、総則・委託研究学校評価支援事業、10年経験者研修
	技術・ 家庭	布川 広	技術・家庭、キャリア教育・中学校進路指導、教育課程調査・報告、学籍・指導要録等、学校教育の概要、講師派遣事業キャリア教育・進路指導研修
	家庭	江尻 孝美	家庭、技術・家庭、生活科学、食育、学校栄養、学校評価支援事業 教育実習・教育活動サポーター配置事業、教頭研修
	体育・ 保健	大内 孝二	体育・保健体育、スポーツ、かながわイキイキスクール実践研究、学校新聞、拡大要請訪問、学校経営教頭研修(企業派遣研修)、体育実技研修
	外国語	金子 勉	外国語(英語)、国際、ALT・EAF派遣事業、学力・学習状況調査 少人数指導、小学校英語中核教員研修、初任者研修
	道徳	辰口 直美	道徳、ふれあい教育・福祉教育、同和教育、学校評価支援事業 初任者研修、小・中学校合同道徳教育研修
	特別活動	橋谷 由紀	特別活動、児童生徒指導、演劇、人権尊重教育、初任者研修 人権尊重教育推進担当者研修
	高校教育	荒井 利之	高校教育、福祉、工業、商業、中高・高大連携教育、高等学校進路対策 研修企画運営の統括、5年経験者研修、15年経験者研修
	国際理解	佐藤 公孝	国際理解教育、海外帰国・外国人児童生徒教育相談、教育課題研究 研究企画運営の統括、日本語指導等協力者派遣、校長研修
	健康教育	後藤美智子	健康教育、性教育、安全指導、心肺蘇生法モデル人形貸出、養護教諭関係研修、初任者研修、学校プール安全衛生・蘇生法研修、公開教養講座



# 情報・視聴覚センター

代表 TEL 844-3711

FAX 844-3651

## 情報・視聴覚センター業務全般に係わること

- 校務用、普通教室用コンピュータ導入
- KEINS-NET の運営管理全般
- ICT を活用した授業の推進
- 特別支援学校情報研究会

室長 大串一彦  
TEL 844-3710

指導主事 井部良一  
TEL 844-3713

- KEINS-NET に係る業務 (ID 管理)
- 学校、研究会等の Web ページ管理
- 中学校情報機器の整備計画
- 中学校教科研究会情報部会

指導主事 金野昌暢  
TEL 844-3711

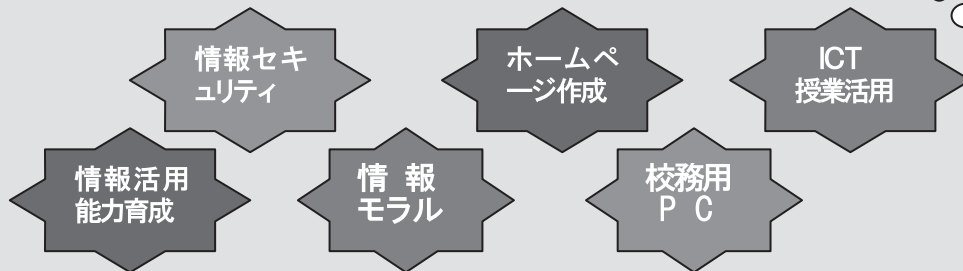
- 情報モラルやセキュリティ
- 情報教育の研究、研修
- 高等学校コンピュータ室機器導入
- 高等学校教科等連絡協議会 (情報)

指導主事 増田 実  
TEL 844-3711

- 映像、視聴覚に関する業務
- 研究推進校センター共同研究担当 (住吉小)
- 小学校コンピュータ室機器導入
- 学校図書館オンラインシステム
- 小学校情報教育研究会

指導主事 小松良輔  
TEL 844-3711

夏季希望研修・夜間研修 (前期・後期) ・出前研修 (随時) ・リクエスト研修 (随時)

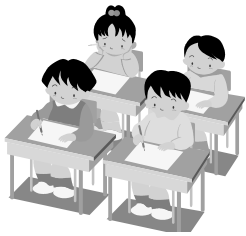


お気軽に  
お問合せ  
下さい

## 川崎市視聴覚ライブラリー (映像教材・機器の貸出)

社会教育、学校教育、平和教育 (16 ミリ・ビデオ)、パネル、視聴覚機器の貸出を  
します。お気軽にお問い合わせ下さい。

★予約専用 TEL (844) 3636 (10:00~12:00 12:45~16:30)



# 特別支援教育センター

溝口相談室 塚越相談室  
TEL 844-3741 / 541-3633  
FAX 844-3604 / 511-3156

特別支援教育センター業務全般に係わること

室長 高木 正之助  
TEL 844-3740

特別支援教育の学校支援  
文部科学省及び神奈川県関係  
特別支援教育体制充実事業関係  
就学指導委員会関係 通級指導教室関係  
特別支援教育サポート事業関係  
通級指導教室新担任者等研修(830)  
通級指導教室専門(409)  
特別支援学校の入学関係  
特別支援教育研究会(小学校)関係

指導主事 増田 亨  
TEL 844-3742

心理臨床相談員 溝口 5名 塚越 3名

理学療法士 作業療法士 各1名

教育相談員 2名 巡回指導員 4名

特別支援教育の教育相談・学校支援(全市)  
特別支援教育体制充実に関する研究関係  
特別支援教育コーディネーターマネージメント研修(407)  
リクエスト研修(716)  
学生派遣に関する事

指導主事 佐藤 肇  
TEL 844-3741

特別支援教育の教育相談・学校支援  
(主に多摩区・麻生区)

ABCけんさに関する事  
特別支援教育校内研修(504)居住地交流関係  
特別支援学校の地域支援に関する事  
研究推進校(特別支援教育)関係  
特別支援教育コーディネーターステップアップ研修(408)  
特別支援教育研究会(川特研)関係

指導主事 荒井 真理  
TEL 844-3741

特別支援教育の教育相談・学校支援  
(主に高津区・宮前区)  
特別支援教育コーディネーター養成研修(829)  
特別支援教育研究会(中学校)関係  
特別支援教育の教育課程(中学校)に関する事  
特別支援教室モデル校に関する事  
院内学級に関する事

指導主事 高木 幸江  
TEL 844-3741

特別支援教育の教育相談・学校支援  
(主に川崎区)

特別支援教育専門家チーム関係  
サブチーム関係 医療的ケア関係  
研究推進校(小学校特別支援教育関係)  
障害のある生徒の進路に関する事

指導主事 稲野辺容子  
TEL 541-3633(塚越相談室)

特別支援教育の教育相談・学校支援  
(主に幸区・中原区)  
特別支援学級等新担任者研修(828)  
特別支援学級等新担任者2年目研修(829)  
特別支援教育コーディネーター連絡協議会関係  
特別支援教育専門家チーム教育班関係  
特別支援教育の教育課程(小学校)に関する事

指導主事 青木 利光  
TEL 541-3633(塚越相談室)



# 教育相談センター

代表 TEL 844-3700

## 【教育相談センター主な事業と担当】

教育相談センター業務全般に係わること

室長 伊藤 一晴  
TEL 844-3752

- \* 電話相談 (24 時間電話含む)
- \* 不登校対策研修会
- \* フレンドシップかわさき事業・不登校対策連絡協議会
- \* 問題を抱える子ども等の自立支援事業

指導主事 堀米 達也  
TEL 844-6701  
溝口相談室

- \* スクールカウンセラー配置
- \* 教育相談研修講座 (306~310・712 講座)
- \* 不登校家庭訪問相談
- \* 教職員のための相談室

指導主事 松崎 哲範  
TEL 844-6701  
溝口相談室

- \* 教育相談校内研修 (503 講座)
- \* 教育相談宿泊研修 (826 講座)
- \* 学校巡回カウンセラー派遣
- \* ゆうゆう広場運営全般に係わること

指導主事 <sup>おりゆう</sup>尾立 秋彦  
TEL 541-3633  
塚越相談室

## 【教育相談センター各事業・施設電話番号】《保護者や子どもへの紹介用》

### 電話相談

〈保護者用〉

TEL 541-3633

\* 毎日 9 時から 18 時まで

TEL 844-3700

\* 平日 9 時から 16 時 30 分まで

〈子ども用〉

TEL 844-6700

\* 平日 9 時から 16 時 30 分まで

〈24 時間電話相談〉

TEL 522-3293

\* 年末年始を除く毎日 24 時間いつでも

### 来所面接相談

〈塚越相談室〉…南武線鹿島田駅から徒歩 8 分

TEL 541-3633

〈溝口相談室〉…田園都市線二子新地駅から徒歩 10 分

TEL 844-3700

### ゆうゆう広場

\* 見学の希望やお問い合わせは、どの広場についても「さいわい」が窓口となっております。

(担当 鈴木 廣和専任教諭)

〈さいわい〉…南武線鹿島田駅から徒歩 8 分

TEL 544-6381

〈た ま〉…南武線宿河原駅から徒歩 5 分

TEL 932-0981

〈あ さ お〉…小田急線新百合ヶ丘駅から徒歩 1 4 分

TEL 953-2021

### 不登校家庭訪問相談

TEL 522-3534

\* 申し込み 平日 9 時から 18 時まで



# 幼児教育センター

代表 TEL 833-5171

FAX 833-5255

★高津小敷地内にあります。  
 ★1Fは、みぞのくち保育園・子育て支援センター「たまご」です。

室長  
内田ひろ子

業務の総括  
 安全管理  
 公私立幼稚園・保育園との連絡調整  
 幼児教育及び子育て支援関係各会議参加

指導主事  
小林朝香

『相談』主担当  
 個別の指導計画の普及  
 要請訪問  
 大学との連携  
 「幼児教育課題」研修・私立幼稚園研修「自己評価」

親子グループ活動  
 集団体験活動

区担当：中原・高津区

指導主事  
青柳道子

『研修』主担当  
 教育・保育計画案作成研究  
 「幼・保・小の連携」「幼児事故予防」研修  
 「幼稚園教育要領改訂」研修  
 データベースの整理  
 幼・保・小代表者連絡会事務局

親子グループ活動

区担当：川崎・幸区

指導主事  
根津牧子

『指導主事研究』主担当  
 『情報』主担当  
 「幼児特別支援教育」研修  
 市民向け「子育て期公開講座」  
 幼児教育センターだよりの作成  
 ホームページの更新  
 インターシップ・ボランティアに係わること  
 複合施設連絡会事務局・幼児特別支援教育連絡会事務局

集団体験活動

区担当：宮前・多摩・麻生区



## 総務室

TEL 844-3600 (大代表)

FAX 844-3604

### ◆ 主な業務

- ・庶務一般、センター内予算、決算の総括
- ・5センター間の連絡調整
- ・センター広報、運営委員会に関する事務
- ・センター、幼児教育センター、教育会館、塚越相談室及びゆうゆう広場の施設維持管理

### ◆ 総務室からのお願い

- ・担当者のわかる業務につきましては、各室直通の電話番号でお問い合わせください。
- ・駐車場が不足しております。センターへのお車でのご来館はご遠慮ください。
- ・教職員の会議、研修等でセンターの会議室等を利用することができます。詳細は指導主事、総務室までお問い合わせください。

# 平成20年度 研究推進校一覧

平成19・20年度 研究推進校		
校種別	研究領域等	学校名
小 学 校	国 語	大 戸 小 学 校
		新 城 小 学 校
		宮 崎 台 小 学 校
	社 会	南 加 瀬 小 学 校
		橘 小 学 校
	算 数	上 丸 子 小 学 校
		宮 崎 小 学 校
	理 科	西 槌ヶ 谷 小 学 校
	生 活	苺 宿 小 学 校
	音 楽	末 長 小 学 校
	図 画 工 作	登 戸 小 学 校
	体 育	宮 前 小 学 校
		向 丘 小 学 校
	特別活動	坂 戸 小 学 校
	総合的な学習の時間	苺 宿 小 学 校
	児童指導	新 町 小 学 校
	特別支援教育	桜 本 小 学 校
	情報教育	住 吉 小 学 校
	キャリア教育	苺 宿 小 学 校
	国際理解	稗 原 小 学 校
教育課程	中 原 小 学 校	
幼 稚 園	地域子育て支援	生 田 幼 稚 園
高 等 学 校	商業教育	商 業 高 等 学 校
特別支援学校	特別支援教育	養 護 学 校

平成20・21年度 研究推進校		
校種別	教科領域等	学校名
中 学 校	国 語	川 崎 中 学 校
	社 会	西 高 津 中 学 校
	数 学	稲 田 中 学 校
	理 科	西 生 田 中 学 校
	音 楽	中 野 島 中 学 校
	美 術	中 野 島 中 学 校
	保健体育	東 橘 中 学 校
	技術・家庭	向 丘・菅 生・犬 蔵・平 中
	英 語	有 馬 中 学 校
	道 徳	長 沢 中 学 校
		生 田 中 学 校
	特別活動	東 橘 中 学 校
		東 高 津 中 学 校
		南 生 田 中 学 校
	総合的な学習の時間	橘 中 学 校
日 吉 中 学 校		
特別支援教育	平 中 学 校	
中 学 校	小中連携	井 田 中 学 校
小 学 校	(中原区)	井 田・住 吉・下 小 田 中 小
中 学 校	小中連携	菅 中 学 校
小 学 校	(多摩区)	菅 小 学 校
中 学 校	小中連携	犬 蔵 中 学 校
小 学 校	(宮前区)	白 幡 台・犬 蔵 小
小 学 校	人権尊重教育	野 川 小 学 校
中 学 校		宮 前 平 中 学 校

平成19・20年度 異校種間連携研究推進校		
校種別	研究領域等	学校名
中 学 校	小中連携 (川崎区)	京 町 中 学 校
小 学 校		浅 田 小 学 校
小 学 校	小中連携 (高津区)	小 田 小 学 校
中 学 校		高 津 中 学 校
小 学 校	小中連携 (麻生区)	久 本 小 学 校
中 学 校		西 生 田 中 学 校
小 学 校	小中連携 (麻生区)	西 生 田 小 学 校
小 学 校		百 合 丘 小 学 校
中 学 校	小中連携 (麻生区)	金 程 中 学 校
小 学 校		金 程 小 学 校
小 学 校	幼小連携 (高津区)	千 代ヶ 丘 小 学 校
幼 稚 園		坂 戸 小 学 校
高 等 学 校	中高連携 (高津区)	特 定 せ ず
中 学 校		高 津 高 等 学 校
		高 津 中 学 校

平成20年度コンピュータ利用共同研究校		
校種別	研究領域	学校名
小 学 校	情報教育	住 吉 小 学 校



最近「緑のカーテン」の新聞記事をよく目にするようになった。県内自治体でも県庁を中心にアサガオ、ゴーヤー、ヘチマなどで壁面緑化を普及する運動に取り組み始めて

いるようである。川崎市においても、那覇市との交流をきっかけとして、ゴーヤーの種子と苗を育てる取り組みを始めた。センターでは、相談センター前の窓際に2ポット、4株の苗を5月下旬に植えて、市の「緑のカーテン」事業にささやかながら協力している。皆さんがこれを読んでいる頃には、成長してりっぱな緑のカーテンができていくでしょう。また、「ゆうゆうあさお」敷地内の「ゆうゆうファームあさお」で近隣の小中学校の児童生徒たちが、日さんをはじめとするボランティアの方々の協力により野菜の栽培に取り組んでいる。このように、センターの様々な施設を活用して、環境教育、食育教育等に実践的に取り組むのもセンターの役割ではないかと思う。せつせと水やりをし、秋の収穫を楽しみにしています。

S・K

